

釧路の研究活動

研修部長 厚岸町立太田小学校

校長 小川 一 法

1. はじめに

釧路校長会では長年にわたり、自主的に研究協議会を開催してきた。釧路管内の校長が一堂に会し、研究課題に基づく研究協議を行うとともに、会員相互の親睦を図ることを通して、結束を高めてきた。

今年度は、釧路管内が直面する課題を追究する3カ年研究計画の3年次目として、「第60回釧路校長会研究協議会」を11月1～2日の2日日程で開催した。釧路校長会全体の課題意識の共有化と組織的な実践研究の充実、さらには会員個々の職能向上を目指し、研究活動に取り組んでいる。



2. 研究及び活動の計画

(1) 研究計画

研究主題

『釧路の風土で知を磨き、未来を切り拓く児童生徒の育成を目指す学校教育』（3/3年次）

視点1 「組織運営の活性化」
学校の組織運営改革と新たな教育課程編成における校長の指導力

研究内容(キーワード)

教員定数の拡充など指導体制の確保、科学的根拠、学校多忙化の改善、教職員減少への対応、会議の効率化、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー、不登校・いじめへの対応

視点2 「教職員の育成」

次代の学校・地域を創成する教員の資質能力向上を目指す校長の指導力

研究内容(キーワード)

人事評価・面談の活用、生徒指導の充実、進路指導の充実、特別支援教育の充実、学校力向上、スクール・コンプライアンス、クレーム対応、メンタルヘルス、学校評価、メンタリング・コーチング、ブレイン・ストーミング

共通する要素

教職員の意識改革や資質・能力の向上、家庭や地域社会との連携、異校種間の連携など

釧路校長会研究協議会

各町村校長会の取組

各学校の実践

(2) 活動計画

①第60回釧路校長会研究協議会の開催

②各種研究大会への参加体制づくり（道小、全連小、道中、全日中）

③道小胆振・苫小牧大会第13分科会「連携・接続」提言（元年度）に向けた特別委員会

④道小オホーツク・北見大会第13分科会「連携・接続」提言（2年度）に向けた特別委員会

3. 研究及び活動の概要

(1) 第60回釧路校長会研究協議会の開催

①全体会

【道小胆振・苫小牧大会「連携・接続」提言発表】
「連携・接続の推進に向けた『ビジョン共有』と『環境づくり』における校長の役割と指導性」

◇白糠町立茶路小中学校 大西 展史

②分科会

【第1分科会「組織運営の活性化」】

「組織的で効率的な学校運営を行い、教員の多忙化の改善を図る校長の指導力」

◇弟子屈町立弟子屈小学校 中原 英雄

【第2分科会「教職員の育成」】

「教職員のライフステージに応じた学校運営参画意識を高める校長の指導力」

◇白糠町立白糠小学校 高島 昌之

《1日目》提言を基にしたグループ協議

《2日目》実践レポート交流とグループ協議

(2) 各種研究大会への参加

①道中胆振・苫小牧大会（9月13～14日）

15名参加 第13分科会提言発表

②全連小秋田大会（10月17～18日）

3名参加

③道中空知・岩見沢大会（9月27～28日）

9名参加

④全日中群馬・前橋大会（10月24～25日）

3名参加

(3) 特別委員会の開催

①道小胆振・苫小牧大会提言に係る特別委員会 7名 3回

②道小オホーツク・北見大会提言に係る特別委員会 7名 3回



4. おわりに

1 1月上旬に2日日程で開催した研究協議会は、道小胆振・苫小牧大会での提言内容を発表する全体会と課題ごとに2つの分科会で、課題解決に向かう校長の指導性を明らかにした（分科会の提言発表は、全体会で実施）。道中胆振・苫小牧大会の提言は、単に1校の実践としてではなく、釧路管内の実態や課題に基づいた校長会としての組織的な取組、関係機関との連携、各町村校長会による積極的な関与を発表する機会となった。

1日目の分科会では、小グループに分かれて提言発表に基づく研究協議を行い、研究課題の解明に努めた。2日目の分科会では、すべての校長が実践レポートを持ち寄って交流するとともに、テーマに基づいて協議を行うことで、明日からの学校経営に直結する実り多い研究協議となった。

また、各分科会において、北海道教育庁釧路教育局長 川端雄一様、同義務教育指導監 秦 直人様から、それぞれの研究課題の解明に直結する御講評をいただいた。

今後も、会員各位の理解と協力を糧に組織を挙げて研究活動に臨む所存である。

HP 1 ページ目掲載写真

